



180億円にもなる 積立基金の必要性は

山田 門左工門議員

大規模災害対策と施設の老朽化対策に
総務部長

県内自治体の積立金状況（令和3年度）
総務省の統計資料

自治体名	人口	積立金
豊田市	42万人	670億円
一宮市	38万人	130億円
稲沢市	13万人	140億円
あま市	8,5万人	45億円
犬山市	7,2万人	60億円
清須市	6,7万人	53億円
津島市	5,9万人	50億円
弥富市	4,2万人	23億円
愛西市	6,0万人	178億円

1. 豊田市の670億円を人口6万人に換算すると95億円程度
2. 一宮市は、6万人換算すると20億円程度
3. 稲沢市は、6万人換算すると64億円程度
4. 一宮市は、積立金から45億円、国から60億円、公債費（借金）45億円、合計150億円で学校建て替える計画
5. 犬山市は、大震災の準備として18億円を準備している

▲愛知県の自治体における積立基金一覧

問 令和4年度の一般会計決算の積立基金が180億円にもなるが、その必要性は。

答 大規模災害時の復旧経費として約70億円、施設の更新と老朽化対策に110億円を目標額としている。

問 多額の積立基金があり、借金である公債費も極めて少なくなっているが、なぜ老朽化している学校施設に投資しないのか。

答 現在、教育委員会によって協議・検討がなされており、特定財源の確保に努めつつ、持続可能な財政運営に努める。

問 市は、総額226億円の積立金が必要とのことだが、どんな根拠があるのか、投資先と数字は。

答 大規模災害関係の復旧費の一定率を計算し、施設整備事業は、老朽化分の一定の減価償却等の率を考えて目標としている。

問 学校統廃合計画で、佐屋中学校への統合に反対する立田地区からの住民1265名の陳情書が出されたが、教育委員からどんな意見が出たのか。

答 地域住民の充分な理解と協力などを得るため更なる取り組みが必要であるとの意見があった。

立田地区陳情書に 教育委員の意見は



▲老朽化している佐屋小学校の非常階段

問 検討協議会を設置する約束をなぜ守らないか。

答 立田、八開地区の検討協議会では申し送り事項について、協議は行われなかった。